

## 中山 直子（大学院保健福祉学研究科兼務）

### 2 学術論文

- 1) 中山直子, 神崎由紀, 大河内彩子, 斉藤恵美子, 矢島正榮, 荒木田美香子, 臺 有桂, 村嶋幸代. (2023). 保健師教育の評価に関する会員校意向調査. 保健師教育, 7(1), 39-45.
- 2) 林直子, 高橋奈津子, 鈴木久美, 中山直子, 府川晃子. (2023). 女性乳がん患者の妊孕性温存に関する意思決定支援の現状と課題-患者と医療者のインタビュー調査から-. 保健の科学, 65(12), 809-813.

### 3 その他の著作

- 1) 中山直子. (2023). 医療情報科学研究所 (編), クエスチョン・バンク別冊 第113回看護師国家試験問題解説 2023 第24版. メディックメディア.
- 2) 中山直子. (2023). 岡庭 豊 (編), 看護師・看護学生のためのレビューブック 2023 第25版(pp.在 20-25). メディックメディア.
- 3) 林 直子, 中山直子, 平田美佳, 竹之内直子 (編集・執筆). (2023). AYA世代にある小児がんサバイバーへの継続的な支援のために-血液がんに焦点をあてて-. 令和5年度科学研究費助成事業 (基盤B) 教育教材として.

### 4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本健康教育学会 代議員, 2018.6.～
- 2) 多摩ニュータウン学会 評議員, 2012.6.～
- 3) NPO法人ハンディキャブゆづり葉 理事, 2022.6.～
- 4) 横須賀市健康増進横須賀市健康増進計画・食育推進計画専門部会 委員, 2022.6.～
- 5) NPO法人プランB 監事, 2023.1.～
- 6) 日本公衆衛生看護学会 査読委員, 2023.6.～
- 7) 日本公衆衛生学会 代議員, 2023.7.～

### 5 社会貢献

- 1) NPO法人ハンディキャブゆづり葉 セルフケア支援, 2021.6.～
- 2) 全国保健師教育機関協議会 教育評価準備委員会委員, 2021.7.～
- 3) 石心会川崎幸病院看護部 看護研究支援, 2022.7.～
- 4) 神奈川県保健師の仕事説明会 (県庁健康増進課・幹事校として担当), 2023.8.
- 5) オープンキャンパス, 2023.8.5.
- 6) 川崎市立川崎高等学校 系統・分野別説明会, 2023.10.10.
- 7) うみかぜ祭 まちの保健室, 2023.11.5.
- 8) 神奈川県保健師合同就職説明会 (県庁健康増進課・幹事校として担当), 2024.3.

### 6 講演, 放送

- 1) 川崎市保健師新任研修 講師, 2023.12.5.

## 7 学会等での活動

- 1) Kong Fanlei, Nakayama Naoko, Wang Jieru, Chen Rui, Liu Hui, Xu Xixing, Zhao Bo, Nam Eun Woo, Hoshi Tanji. (2023,6,12). The mediation effect of social support on the association between socioeconomic status and oral health among migrant elderly following children in China. IAGG-AOR2023 Book of Abstract(p.245),Yokohama.
- 2) Pang Mingli, Nakayama Naoko, Wang Jieru, Chen Rui, Liu Hui, Xu Xixing, Zhao Bo, Nam Eun Woo, Hoshi Tanji, Kong Fanlei. (2023,6,12). Does the sex of co-residing children affect the medical returns of migrant elderly following children? Evidence from a cross-sectional study in China. IAGG-AOR2023 Book of Abstract (p.381),Yokohama.
- 3) Liu Guangwen, Nakayama Naoko, Wang Jieru, Pang Mingli, Zhao Bo, Li Zhen, Hoshi Tanji, Nam Eun Woo, Li Shixue, Kong Fanlei. (2023,6,12). Association between Smartphone Usage, Family Support and Loneliness among the Migrant Elderly Following Children in Jinan, China: A Cross-sectional Study. IAGG-AOR2023 Book of Abstract(p.432),Yokohama.
- 4) Wang Jieru, Nakayama Naoko, Pang Mingli, Chen Rui, Liu Hui, Xu Xixing, Zhao Bo, Nam En Woo, Hoshi Tanji, Kong Fanlei. (2023,6,12). The Effects of Oral Health and Sleep Disturbance on Health-related Quality of Life of Migrant Elderly Following Children in Weifang, China. IAGG-AOR2023 Book of Abstract(p.793), Yokohama.
- 5) Zhao Bo, Pang Mingli, Wang Jieru, Kong Fanlei, Park Myung, Hoshi Tanji, Nakayama Naoko, Nam Eun Woo.(2023,6,12). Priorities of Dementia Response and Actions in South Korea and China: focused on SWOT-PESTLE-AHP Model. IAGG-AOR2023 Book of Abstract”(p.833),Yokohama.
- 6) 赤堀八重子, 齋藤 基, 中山直子. (2023,12月9日). 特定保健指導における利用阻害要因の因子間の関連. 第43回日本看護科学学会講演集, 山口.
- 7) 中山直子, 蓮井貴子, 赤堀八重子, 高本佳代子, 佐藤美樹. (2024,1月7日). 統計のアレルギーをなくそう! エビデンスに基づく保健活動!. 第12回日本公衆衛生看護学会学術集会講演集(p.145), 福岡.
- 8) 赤堀八重子, 齋藤 基, 中山直子, 倉林しのぶ, 坪井りえ, 武居明美, 関根恵理香. (2024,1月7日). A市における特定保健指導の利用阻害要因の関連と構造. 第12回日本公衆衛生看護学会学術集会講演集(p.163), 福岡.
- 9) 蓮井貴子, 中山直子. (2024, 1月7日). アドバンス・ケア・プランニングの普及のための地域住民への動機づけとその評価のナラティブ・レビュー. 第12回日本公衆衛生看護学会学術集会講演集(p.191), 福岡.

## 8 学内教育活動

- 1) 学部  
地域看護学Ⅱ, 地域看護学実習, 公衆衛生看護学演習Ⅰ・Ⅱ, 公衆衛生看護学実習, 公衆衛生看護活動論, 産業保健論Ⅰ・Ⅱ, 在宅看護学実習, 統合実習, 卒業研究.
- 2) 大学院  
地域看護学特論, 地域看護学演習.

## 9 学内各種委員会活動

- 1) 衛生委員会, 2021.8.～
- 2) 看護領域研究科委員会, 2021.10.～
- 3) 学科学生委員会, 4年次クラス担任, 2022.4～2024.3.
- 4) JABNE 看護教育評価ワーキングメンバー, 2022.12.～

## 10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 林 直子 (研究代表者), 小林京子, 鈴木久美, 森 明子, 中山直子. AYA 世代にある小児がんサバイバーの移行期ケアを支える看護師育成プログラムの開発. 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究 (B), 2017.4.1～2024.3.31.
- 2) 高橋奈津子 (研究代表者), 佐藤幹代, 中山直子, 米田昭子. 看護基礎教育における糖尿病の【語り】をいかしたセルフマネジメント支援教材の開発. 日本学術振興会 学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C), 2019.4.1～2024.3.31.

## 12 受賞

- 1) 八王子市より行政功労にて表彰; 学校運営協議会委員 市制施行記念日式典 いちようホール, 2023.10.1.
- 2) 奨励賞, 日本看護科学学会, 2023.12.9.  
Sakiko Aso, Naoko Hayashi, Go Sekimoto, Naoko Nakayama, Keiko Tamura, Chieko Yamamoto, Maho Aoyama, Tatsuya Morita, Yoshiyuki Kizawa, Satoru Tsuneto, Yasuo Shima, Mitsunori Miyashita, Association between temporary discharge from the inpatient palliative care unit and achievement of good death in end-of-life cancer patients: A nationwide survey of bereaved family members

## 14 その他

- 1) 保健医療データ活用のための SPSS&Amos 実践研究会 代表, 2011.4.～